

【藍野高等学校 スクール・ポリシー】

1. 育成を目指す資質・能力に関する方針

看護・医療・保健・福祉の分野で活躍する人材に必要とされる専門的知識と技術の修得、豊かな人間性、倫理観と洞察力を身につけ、最良の適応力と創造性のある人材を育成します。

- (1) 准看護師の基礎的な知識と技術を修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語運用能力、数学の計算能力）や理解力を育成します。《知識・技能》
- (2) 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる人材を育成します。《思考力・判断力・表現力》
- (3) 人や看護に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲を持つ人材を育成します。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

2. 教育課程の再編成及び実施に関する方針

育成を目指す資質・能力に関する方針を達成するため、次のような教育活動を行います。

- (1) 全教科において学力の3要素である知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の育成を重視します
- (2) 3年間で准看護師の資格を取得し、その後、看護師養成2年課程の学校への進学により、最短で看護師の資格取得を目指します
- (3) 教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し、段階的に科目を配置します
- (4) 准看護師試験の過去問題にたくさんチャレンジできる環境と本校独自の学習計画プログラムを実施します
- (5) 学習評価方法
 - ①知識に対しては、中間考査・期末考査で学習評価を行う
 - ②基本的な看護の技能は、実技試験を行う

3. 入学者の受け入れに関する方針

将来、看護職に従事することを前提に、医療専門職に必要とされる専門的知識と技術の修得、豊かな人間性、倫理観と洞察力を磨くため、次のような人物を求めています。

- (1) 医療に強い関心があり、高等学校3年間（准看護師）＋看護師養成2年課程（看護師）を継続的に自己研鑽ができる人
- (2) 他人を思いやり、相手の気持ちを分かち合うことができる人
- (3) 基礎的な学力を有し、看護に関心を持ち、努力を惜しまず自己研鑽できる人
- (4) 自己管理ができ、臨地実習に意欲的に取り組める人
- (5) ルールとマナーを守ることができる人